

2015年 **冬**号 株主通信



CONTENTS

トップメッセージ ……1

持続的な利益成長と企業価値向上を目指して

特集 au経済圏 ……3

au経済圏拡大でさらなる飛躍へ

特集 コーポレートガバナンス・コードへの対応 ……5

コーポレート・ガバナンスの強化で
皆さまから信頼され続ける企業へ

KDDIのダイバーシティ活動 ……7

多様な人財の育成による活力ある企業を目指して

株主さま広場 ……9

企業情報 ……11





持続的な利益成長と 企業価値向上を目指して

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2015年度は、中期計画(2013年度～2015年度の3ヶ年計画)の最終年度となります。目標として掲げた「連結営業利益の毎期2桁成長」と3期連続「配当性向30%超」の達成を目指し、着実に取り組んでおります。

代表取締役社長 田中 孝司

増収増益を達成

当社は2015年度より、国際財務報告基準(IFRS)を任意適用しております。

2015年度上期の連結業績は、売上高2兆1,518億円(前年同期比6.0%増)、営業利益4,514億円(前年同期比18.0%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益2,775億円(前年同期比22.3%増)の増収増益となり、中期計画の達成に向け、順調に進捗しております。

成長に向けた取り組みを加速

● お客さまに最適なサービスの展開

2015年度上期は、「スーパーカケホ」や「データくりこし」など、お客さまのニーズに合わせた多彩な料金プラン・サービスを開始いたしました。また、auを長期間ご利用のお客さま向けには、ご契約期間などに応じて、定期的にデータ容量をプレゼントする「長期優待データギフト」を開始しております。

さらに、固定通信サービスとスマートフォンなどのセット利用で割引が適用される「auスマートバリュー」は、多くのお客さまにご好評をいただき、2015年8月には1,000万契約を達成いたしました。

● 「au経済圏」の拡大

お客さまにより便利で豊かな生活を実現いただけるよう、さまざまな商品やサービスをご提供する「au経済圏」の拡大を推進しております。具体的には、「auスマートパス」や「ビデオパス」といったアプリ・映像・音楽サービスのご提供に加え、「au WALLET クレジットカード」や「じぶん銀行」などの金融サービス、「au WALLET Market」による物販サービスに取り組んでおります。さらに、2016年春から電力小売事業に参入し、「auでんき」を開始する予定です。

● グローバル事業の推進

世界各国における法人向けICTビジネスのほか、世界600以上の通信事業者との間で音声及びデータビジネスを展開しております。また、2014年度参入したミャンマーでの通信事業においては、約1,600万の契約を超え、計画を上回る水準で進捗しております。

● コーポレート・ガバナンスの強化

コーポレート・ガバナンスの強化は、当社にとって重要な課題と認識しております。上場企業に適用される「コーポレートガバナンス・コード」への対応と、全社員が共有すべき考え方・価値観・行動規範である「KDDIフィロソフィ」の実践を、会社経営上の両輪として積極的に取り組んでおります。

株主還元について

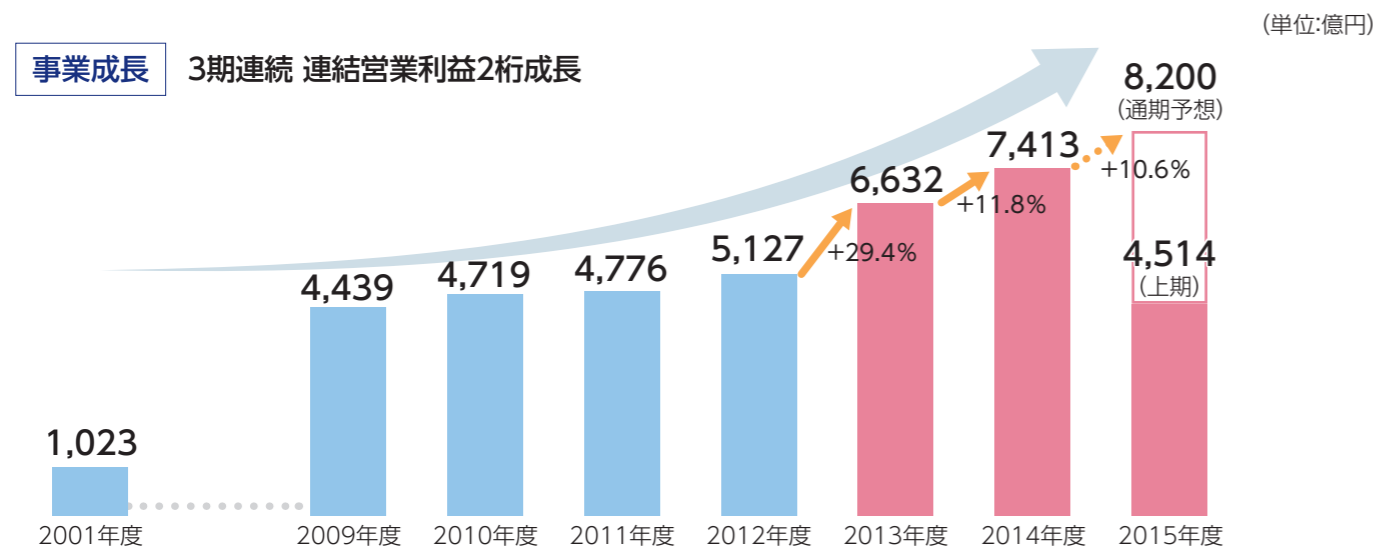
当社は、2000年10月の発足から15周年を迎えました。これまでの株主の皆さまのご支援に感謝し、1株あたり30円の間配当に加え、5円の記念配当を実施いたします。なお、2015年度の年間配当は、1株あたり65円、配当性向は33.2%を予定しております。

株主の皆さまへ

これからも、当社はあらゆる事業活動を通じて、世界中の人々に感動・安心・幸せ・笑顔をお届けし、社会の発展に寄与するとともに、持続的な利益成長と中長期的な企業価値向上を実現してまいります。

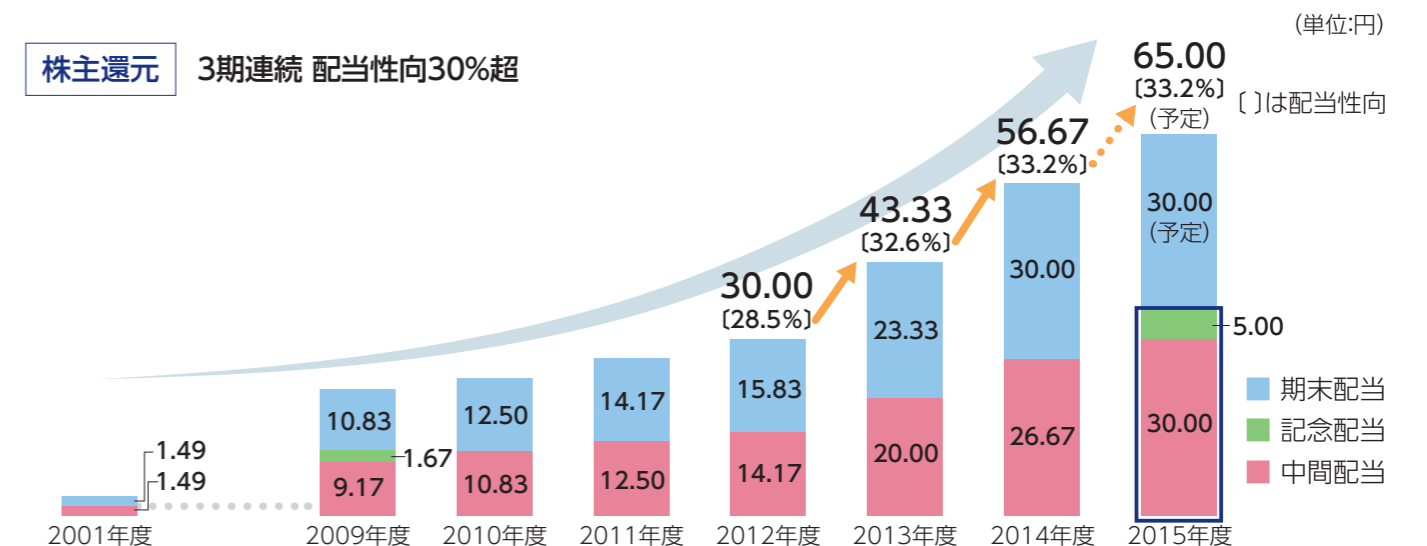
株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結営業利益推移



※ 上記のグラフは2014年度までは日本基準、2015年度はIFRS基準で表示しています。また、文中の「前年同期比」は、IFRSベースでの比較を表示しています。

1株あたり配当額推移



※ 2015年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株に分割しています。

(ご参考)過去の株式分割について

2012年10月1日付(普通株式1株につき100株)、2013年4月1日付(普通株式1株につき2株)に株式分割をしています。

au経済圏拡大でさらなる飛躍へ

全国のauショップなどでのタッチポイントを活かし、さまざまな商品やサービスを流通させ、お客さまに便利で豊かなライフスタイルをご提案する「au経済圏」の拡大を推進しています。今後も当社の強みを活かし、さまざまな分野への拡充をはかっていきます。

コマース(物販)



2015年8月、auショップやパソコン・スマートフォンからインターネットショッピングをご利用いただける新しいサービス「au WALLET Market」を開始しました。日常生活をより豊かにする「ちょっといいもの」をコンセプトに、お客さまのライフスタイルやご要望、趣向に合った商品を取り揃えています。auショップでは、ご来店されたお客さまに、魅力的な商品のご案内や購入時のお手伝いをしています。これまでインターネットショッピングのご経験のないお客さまにも、安心してご利用いただけます。

なお、代金のお支払いには、現金^{※1}のほか、auかんたん決済^{※2}やau WALLETプリペイドカード・au WALLETクレジットカードなどもご利用いただけます。

※1 単品購入のみご利用いただけます。定期購入時にはご利用になれません。

※2 パソコンやauのスマートフォンなどで購入した商品の代金を、月々のauご利用料金と合算してお支払いいただけるサービスです。

コンテンツ



auスマートパス

auスマートパスは、お好きなアプリ、おトクなクーポン、安心して楽しむことができるコンテンツを定額でご利用いただけるサービスです。会員数は2015年9月末現在で1,361万に達しました。会員限定の割引特典、スマートフォンのウイルスブロックやデータバックアップ、au WALLETプリペイドカードの紛失補償、アップル製品故障時の修理補償^{※3}などが月額372円(税抜)でご利用いただけます。

※3 機種ご購入と同時にご加入されている方が対象です。ご利用には、各種条件があります。

エネルギー

auでんき

2016年春、ICTの利活用より利便性の高いエネルギーをお客さまを中心に展開。電気料金と当社サービスを活用した便利でお使いいただけます。

によって、より効率的でギークサービスを利用していく予定です。また、とのセット割引やスマートトクサービスなども計画

決済

au WALLET



au WALLET プリペイドカード



au WALLET クレジットカード

お客さまに便利でおトクにご利用いただけるプリペイドカードとクレジットカードをご提供しています。au WALLETプリペイドカード累計申込数、クレジットカード累計発行数は、2015年9月末現在で合計1,580万枚に達しました。お買い物などで貯まったWALLETポイントは、商品への交換、auかんたん決済を利用したインターネットショッピング、機種変更・修理・オプション品購入などにも、幅広くご利用いただけます。

2015年度のauかんたん決済・au WALLETによる流通総額は、2014年度の3,800億円から2倍超の、8,500億円を目指しています。

金融

じぶん銀行

じぶん銀行は、当社と三菱東京UFJ銀行が共同出資して設立したインターネット銀行です。2015年9月には、口座数が200万口座に達しています。

auをご利用のお客さまを対象とした特典プログラム「プレミアムバンク for au」では、ATM&振込手数料の優遇、円定期預金やカードローンの金利優遇など、魅力的な特典をご用意しています。

au 損保

au損保では、保険契約・保険料支払・契約者変更・保険金請求などのすべてが、パソコンやスマートフォンで簡単に完結できる新スタイルの保険サービスをご提供しています。



LIFENET
LIFENET INSURANCE COMPANY

2015年5月、当社とライフネット生命は資本・業務提携を行いました。相互の会社が持つ顧客基盤・ブランド・事業ノウハウなどを融合し、これまでにない新しいサービスをご提案していきます。

コーポレート・ガバナンスの強化で 皆さまから信頼され続ける企業へ

東京証券取引所は、2015年6月に上場企業のあるべき姿として取りまとめた「コーポレートガバナンス・コード」の適用を開始しました。当社は、このコードに対応し、取り組みを進めることで、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を目指します。



多様な人財の育成による 活力ある企業を目指して

当社は、ダイバーシティ活動の推進を経営戦略のひとつと捉えています。全社員が共有すべき考え方・価値観・行動規範である「KDDIフィロソフィ」の第1章に「ダイバーシティが基本」を掲げ、その推進と環境づくりを行うことで、お客さまに選び続けていただける企業を目指しています。障がいがありながら、当社直営店舗で手話接客スタッフとして働く社員と、当社ネットワークサービスを支える女性技術社員のエピソードをご紹介します。



Episode1

手話を通じた接客による お客さまのご満足を目指して

au NAGOYA 運営室

三原 毅

お客さまの喜びを力に

私は生まれつきのろう者で、店舗において手話を通じた接客を実現させたいと考えていました。

当社では、10年以上前からテレビ電話を使用した手話サポートサービスや筆談での接客を行っていましたが、説明が伝わりにくいことが多々ありました。お客さまと一緒に操作をしながら、手話で料金プランや機種の説明をしたところ、「耳が聞こえない自分にはどんな機種が向いているのか今まで以上によく理解できた」と、とても喜ばれました。手話を通じ、直接接客することの重要性を痛感しました。

これを機に、手話を通じた接客を会社へ提案し、



手話接客スタッフ第1号になりました。お客さまからは、「手話で会話ができるので、安心してお店に行くことができる」などの喜びの声をいただき、仕事に取り組むときの大きな力になっています。

今では、東京・名古屋・大阪の3都市にある当社直営店舗で、店頭スタッフによる手話を通じた接客が行われています。

真のサービスを実現するために

スマートフォンは耳が聞こえない方々にとっても便利な道具です。しかし、そのことを知らなければ全く意味がありません。そのため、耳が聞こえない方を対象としたスマートフォン教室の開催、チラシの配布など、積極的に周知活動を行っています。

耳が聞こえないお客さまに限らず、言語の壁でコミュニケーションがとれず困っている外国人のお客さまなど、さまざまな方に関心を持ち、サポートしていくことが真のサービスだと思っています。

今後も自分の能力を存分に発揮し、さまざまなお客さまをサポートしていくことで、当社の事業に貢献していきたいと思っています。

「なでしこ銘柄」に3年連続で選定

当社は2015年3月、3年連続で「なでしこ銘柄」に選定されました。

「なでしこ銘柄」は、経済産業省と東京証券取引所が女性活躍を積極的に推進する上場企業を魅力ある銘柄として選定・紹介する事業です。

2015年度末に向けた女性ライン長90名登用(女性ライン長比率7.0%)

の目標設定や、女性リーダーの育成・登用、仕事と家庭の両立を積極的にサポートする環境整備などが評価され、今回の選定につながりました。

当社では現在、女性取締役1名、女性理事1名が経営に参画しております。今後も女性活躍推進の取り組みを継続し、お客さま満足度の向上をはかっていきます。



Episode2

電波と思いを確実につなげるために

トラヒックマネジメント部

中西 愛

現場で得た貴重な経験

花火大会やコンサートなど、一時的に大勢の方が集まるイベントでは、既存基地局で通信量をカバーできなくなるため、臨時に移動基地局を設置しています。私は名古屋テクニカルセンター所属時に、この設置・撤去業務に携わってきました。

花火大会など夜に開催されるイベント時には、日中に、臨時の移動基地局を設置するための電波調査を開始します。電波状況確認用に首から提げる多数のスマートフォンの重量は、炎天下で作業する時間が増すにつれ、体にこたえてきます。私にとってはかなりの重労働でした。しかし、嬉しそうに花火の写真を撮っているお客さまの姿を目の当たりにすると、電波がつながることの大切さと自分が行っている業務の重要性を実感しました。そして、「電波と思いを確実につなげる」、それが私の信念になりました。

つなげる思いを新たに

現在、私はトラヒックマネジメント部に所属し、auの品質向上を目的としたデータ分析等の業務に



携わっています。ここでは、お客さまがご利用する通信データが集約され、全体的な傾向や分析を行うとともに、必要な対策をとっています。

新たな部署におけるこのマクロの視点に、電波調査などの経験で得たミクロの視点と「電波と思いを確実につなげる」信念を融合させることで、私ならではの業務を行うことができていると思っています。

今後もお客さまに「auを選んでよかった」と思ってもらえるよう、さまざまな視点を持ち、尽力していきたいと思っています。

株主さま向けイベントのご報告

タブレット体験会

2015年8月、当社直営店舗「au SHINJUKU」において、タブレット体験会を開催しました。

ご参加された株主さまには、お一人一台のタブレットでカメラ撮影やインターネット検索などをご体験いただき、「タブレットの大画面操作はとても使いやすい」などご好評をいただきました。また、体験会でご利用いただいたタブレット「XPERIA Z4 Tablet」には、オプションの専用キーボードがあり、ご参加されたシニア層の皆さまからは「いつも使っているパソコンのように使え、安心できる」とのお声をいただきました。

体験会では、商品や操作に関する多数のご質問のほか、当社の事業に関するご意見をいただくなど、活気あるイベントとなりました。



体験会の様子



地図アプリをご体験される株主さま

第5回 施設見学会

2015年9月、海底ケーブル保守船「KDDIオーシャンリンク」の停泊港施設「国際ケーブルシップ・横浜保守センター」において、施設見学会を開催しました。今回初めての土曜日開催により、お子さまを含めた多くの株主さまにご参加いただきました。

見学会では、センター内の各種設備、光ファイバ接続のデモンストレーションなどのご見学に加え、台湾沖で作業中の「KDDIオーシャンリンク」と見学会場を衛星中継でつなぎ、船長からの現地レポートを受けるなど、通信会社ならではのイベントもお楽しみいただきました。

※ 当初予定していた「KDDIオーシャンリンク」のご見学は、同船がケーブル補修により出航中のため、「国際ケーブルシップ・横浜保守センター」の施設見学会に変更しました。



光ファイバ接続デモンストレーションをご覧になる株主さま



作業中の保守船との衛星中継の様子

株主さまアンケートご協力をお願い

株主さまアンケートや、「施設見学会」及び「チャリティコンサートクラシック2016」の応募方法を記載したご案内を、同封しています。ぜひアンケートにご協力ください。

詳しくは同封のご案内をご覧ください。



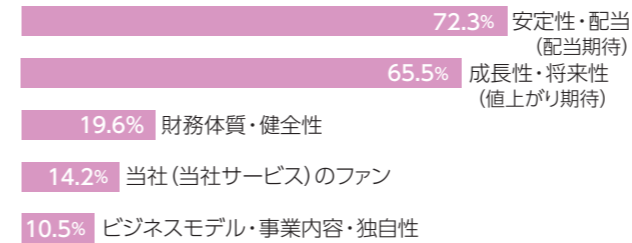
アンケート結果のご報告

株主通信 2015年夏号でご協力いただいたアンケート結果の一部を、ご報告します。皆さまからいただいた貴重なご意見・ご要望は、今後の経営や株主さま向けの情報発信の参考とさせていただきます。

お忙しい中、ご回答いただき、誠にありがとうございました。

有効回答数=1,651 複数回答可

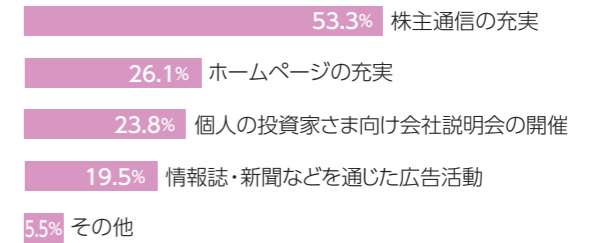
当社株式を購入された理由をお聞かせください。



高配当が魅力的だから。(50代・女性)

KDDIのファンで、三太郎の広告もすごく気に入ったから。(60代・女性)

当社の株主さま・投資家さま向けの情報発信について、希望されることをお聞かせください。



製品開発状況、新サービスの紹介してほしい。(40代・男性)

海外事業で活躍する社員の様子を教えてください。(50代・男性)

2014年度まで13年連続増配をしております、2015年度も増配を予定しております。

当社の魅力をわかりやすくお伝えできるよう、今後も充実した情報発信に努めます。

KDDIの株主優待

お手元のご優待券をぜひご活用ください



株主の皆さまの日頃のご支援に感謝するとともに、当社グループの事業に対するご理解をより深めていただくことを目的として、2015年6月にau端末ご購入の際に利用いただけるご優待券をお届けしました。最新機種の新規ご購入、機種変更にもご利用いただけます。

まだお使いでない株主さまは、ぜひご活用ください。

※ 毎年3月31日現在の株主名簿に記録された、1単元(100株)以上保有されている株主さまを対象とします。

※ 保有いただいている株式数と保有期間に応じた券面額のご優待券を、お送りしています。

ご優待券の有効期限 **2016年5月31日(火)まで**

会社概要 (2015年9月30日現在)

商号	KDDI 株式会社
創業	1984年6月1日
事業内容	電気通信事業

取締役及び監査役

取締役会長	小野 寺 正
代表取締役社長	田中 孝 司
代表取締役執行役員副社長	両角 寛 文
代表取締役執行役員専務	高橋 誠
代表取締役執行役員専務	石川 雄 三
取締役執行役員常務	井上 正 廣
取締役執行役員常務	福崎 努
取締役執行役員常務	田島 英 彦
取締役執行役員常務	内田 義 昭
取締役	久芳 徹 夫
取締役	小平 信 因
取締役	福川 伸 次
取締役	田辺 邦 子
常勤監査役	三瓶 美 成
常勤監査役	小林 洋
常勤監査役	阿部 健
監査役	天江 喜七 郎
監査役	平野 幸 久

社外 会社法に定める社外取締役・社外監査役

独立 東京証券取引所の有価証券上場規程に定める独立役員

株式の状況 (2015年9月30日現在)

発行可能株式総数	4,200,000,000 株
発行済株式の総数	2,690,890,800 株
株主数	66,437 名
大株主	

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)	持株比率 (議決権比率) (%)
京セラ株式会社	343,606	12.76	13.70
トヨタ自動車株式会社	298,492	11.09	11.90
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	152,851	5.68	6.09
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	113,120	4.20	4.51
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	68,706	2.55	2.73

※ 当社は自己株式183,098千株を保有していますが、上記大株主から除いています。

※ 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

※ 株式数は千株未満を切捨てて表示しています。

株主メモ

お知らせ 住所変更その他各種手続につきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

期末配当金支払株主確定日 毎年3月31日

中間配当金支払株主確定日 毎年9月30日

公告方法 電子公告

<http://www.kddi.com/corporate/ir/e-public-notice/>

※ 事故その他により、やむを得ない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

☎ (0120) 232-711

特別口座に記録された株式に係る手続用紙のご請求は、下記の三菱UFJ信託銀行株式会社の電話番号(自動音声応答)及びインターネットでも24時間承っています。

☎ (0120) 244-479(東京) ☎ (0120) 684-479(大阪)
インターネット <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株式に係る「マイナンバー制度」について

マイナンバー制度とは

国民一人ひとりにマイナンバーを配付し、その番号によって複数の行政機関に存在する個人の情報を正確に連携させるための新しい社会基盤です。

株式関連業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主さまのマイナンバーを記載し、税務署へ提出します。

主な支払調書

● 配当金に関する支払調書 ● 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書
市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続で必要となります。
このため、株主さまから、お取引の証券会社等へマイナンバーを届出いただく必要があります。

マイナンバーの届出に関するお問い合わせ先

証券口座にて株式を管理されている株主さま

➡ お取引の証券会社までお問い合わせください。

証券会社とのお取引がない株主さま

➡ 下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行 証券代行部 ☎ (0120) 232-711

※ このご案内は、2015年10月現在の情報をもとに作成しています。

KDDI 株式会社

〒102-8460 東京都千代田区飯田橋三丁目10番10号 ガーデンエアタワー
(本店所在地: 東京都新宿区西新宿二丁目3番2号)
<http://www.kddi.com/>

